DNW-25033 の概要

課題名　　：多発性骨髄腫に対する新規治療法の検証
主任研究者（Principal Investigator）：
寺町　順平（国立大学法人岡山大学　学術研究院医歯薬学域）
ステージ：検証ステージ I

【標的疾患】

多発性骨髄腫

【創薬標的】

IRF4 や PIM2 など（未同定）

【創薬コンセプト】

X 細胞由来細胞外小胞による副作用の少ない多発性骨髄腫に対する新規治療

【モダリティの設定】

EV（Extracellular Vesicles）又はリポソーム製剤

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

1) X 細胞由来細胞外小胞は腫瘍細胞にのみアポトーシスを誘導し、その作用は主に、含有される miRNA により惹起される。
2) 本作用は標的細胞の抗骨髄腫薬に対する耐性の有無にかかわらず発揮される。

【支援ステージにおける目標】

✓ X 細胞由来細胞外小胞による多発性骨髄腫特異的な抗腫瘍作用の機序解明。
✓ マウス病態モデルを用いた X 細胞由来細胞外小胞による作用のコンセプト検証。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。